

【調査の目的】

- 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒の課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組みを通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。
- 大阪府教育委員会は、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。

【調査の概要】

- 「大阪府」とは「大阪・公立学校」の結果を表しています。
- 中学2年の「理科」はA・B2種類の選択問題があり、本市では問題Aを9校(1,619名)、問題Bを9校(1,235名)が選択しました。
- 中学2年の「社会」はA・B2種類の選択問題があり、本市では全校が問題Aを選択しました。
- *理科の選択問題については、各学校の年間カリキュラムに基づき選択しています。

- 実施校数及び実施生徒数
 - 学力に関する調査
 - 生徒に対するアンケート
- 中学1年：18校(2,884人)
- 中学2年：18校(2,859人)
- 中学1年：国語・数学・英語
- 中学2年：国語・社会・数学
- 理科・英語
- 全学年・教科で各2問

【調査結果の取扱い】

本調査により測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのため、序列化や過度な競争を目的とした取扱いにならないよう十分配慮をお願いいたします。
調査結果については、本調査の目的を達成するため、自らの教育及び教育施策の改善、各生徒の全般的な学習状況の改善等につなげることが重要と考えます。

学年・教科別比較別(対大阪府)

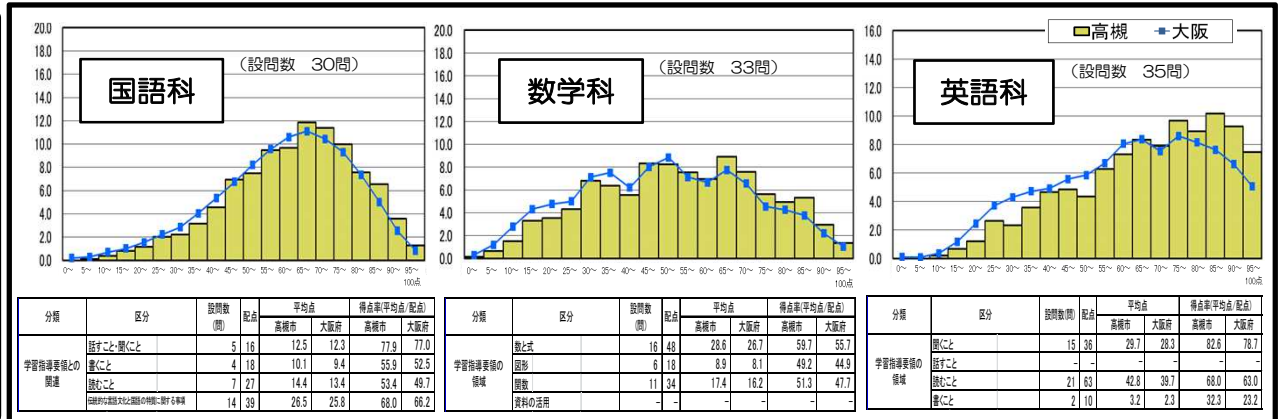
| | | 平成27年度 | | |
|----|-----|--------|------|---------|
| | | 高槻市 | 大阪府 | 差(対大阪府) |
| 1年 | 国語 | 63.5 | 61.0 | + 2.5 |
| | 数学 | 54.9 | 51.0 | + 3.9 |
| | 英語 | 68.7 | 63.5 | + 5.2 |
| 2年 | 国語 | 51.5 | 49.2 | + 2.3 |
| | 社会A | 59.1 | 56.5 | + 2.6 |
| | 数学 | 59.2 | 54.7 | + 4.5 |
| | 理科A | 49.0 | 46.5 | + 2.5 |
| | 理科B | 50.1 | 47.6 | + 2.5 |
| | 英語 | 60.9 | 54.8 | + 6.1 |

【調査結果について】

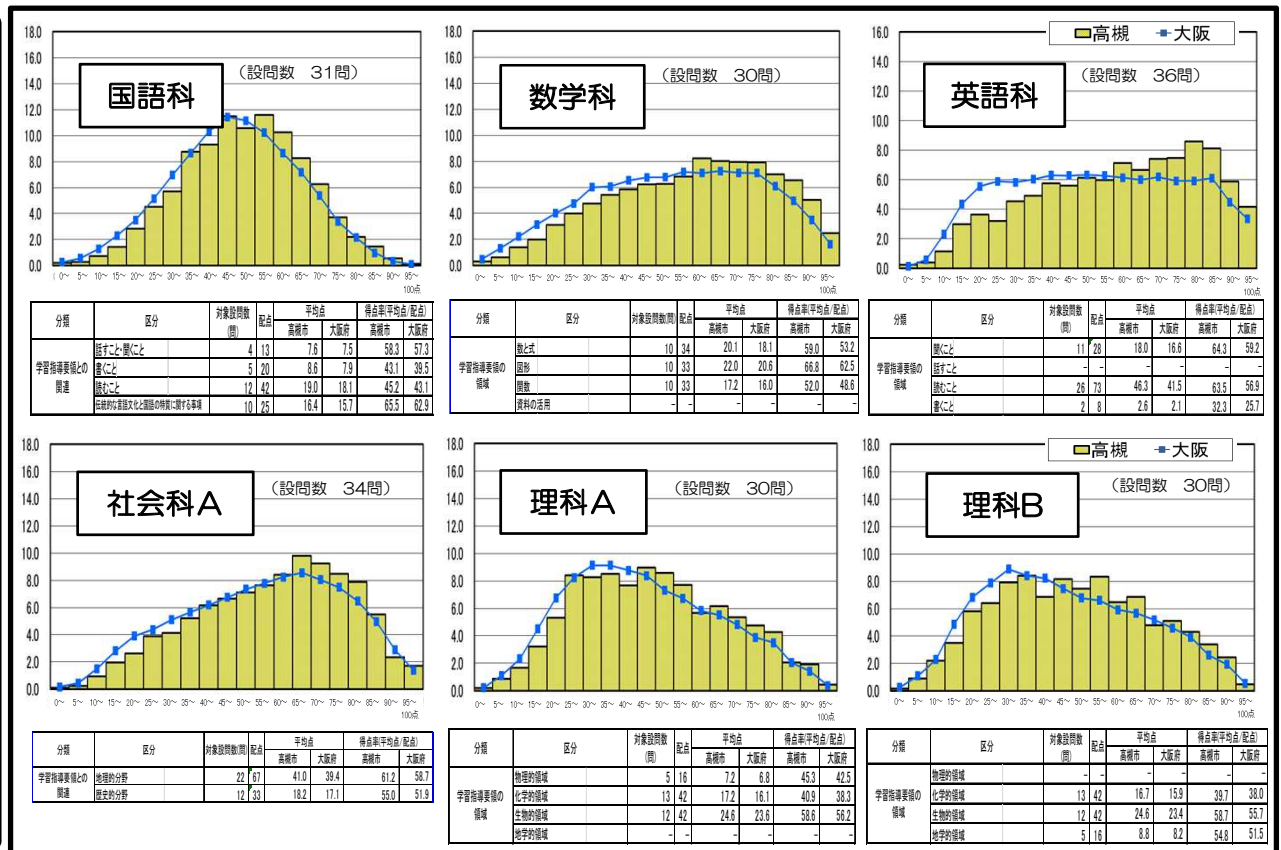
- 学年・教科別平均点比較(対大阪府)
 - 1年では、3教科全てにおいて大阪府の平均点を2.5~5.2点上回っています。
 - 2年では、5教科全てにおいて2.3~6.1点上回っています。
- 得点分布グラフ
 - 各教科の得点分布は、1年・2年ともに上位層の割合は大阪府平均を上回っています。
- 領域別平均点・得点率 <1年>
 - 3教科ともにすべての領域において大阪府の平均点を上回っています。特に数学の「数と式」の領域では1.9点、英語の「読むこと」の領域では、3.1点上回っています。
- <2年>
 - 国語・数学・理科・英語のすべての領域において大阪府の平均点を上回っています。特に、数学の「数と式」の領域では2.0点、英語の「読むこと」の領域では、4.8点上回っています。

得点分布グラフ 横軸：得点(点)、縦軸：割合(%) 領域別平均点・得点率/ 対大阪府比

第一学年



第二学年

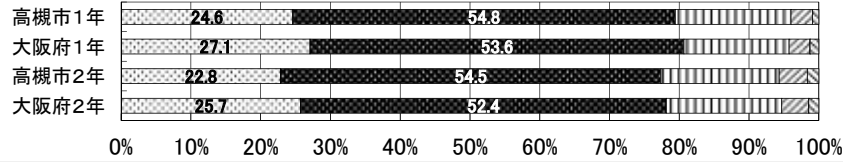


平成27年度中学生チャレンジテスト 生徒に対するアンケートの結果

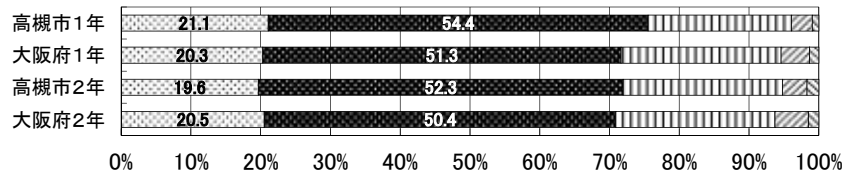
□1. 当てはまる ■2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない 田その他 回無回答

国語科

国語の授業の内容はよく分かる。

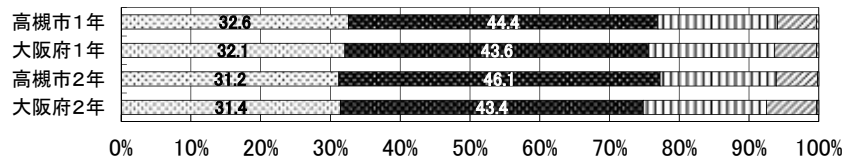


国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いている。

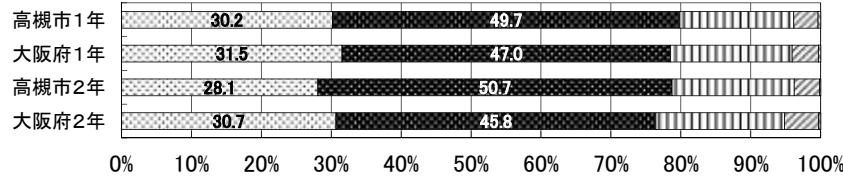


数学科

数学の授業の内容はよく分かる。

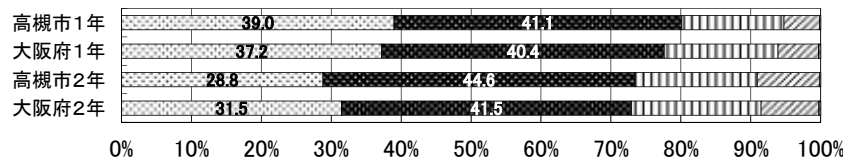


数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている。

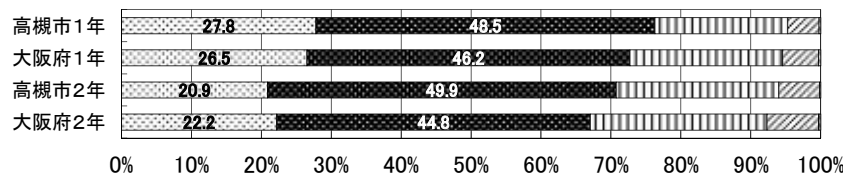


英語科

英語の授業の内容はよく分かる。

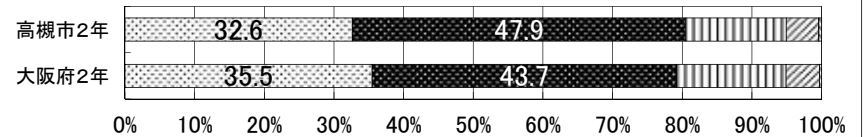


英語の授業で自分の考えを表現するとき、相手に伝わるよう工夫して話したり、書いたりしている。

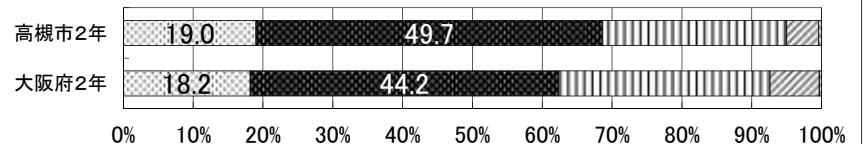


社会科

社会の授業の内容はよく分かる。

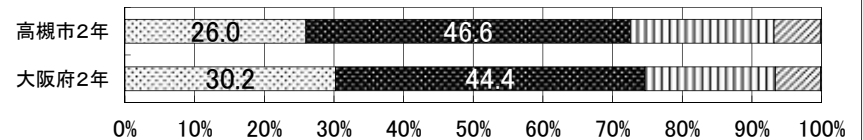


社会の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている。

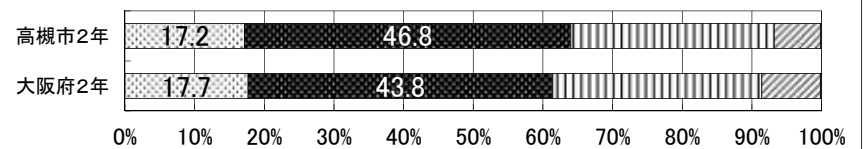


理科

理科の授業の内容はよく分かる。



理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている。



【調査結果について】

「授業の内容がよく分かる」の質問では、2学年ともに数学、英語で肯定的な回答の割合が大阪府の平均値を上回っていますが、国語では大阪府の平均値を下回っています。また、2年生の社会科は肯定的な回答の割合が大阪府の平均値を上回っているのに対し、理科では大阪府の平均値を下回っています。

※肯定的な回答とは、選択肢のうちの「当てはまる」・「どちらかといえば当てはまる」と回答した合計のことです。